様式第22号

火 災 損 害 申 告 書 ２

年　　月　　日

　　　　　消 防 署 長 様

申告者　住所

職業

氏名

電話（　　　）　　－

　　火災の損害を次のとおり申告します。

|  |  |
| --- | --- |
| り災日時 | 年　　　月　　日　　　　時　　　分ごろ |
| り災場所 |  |
| り災物件と申告者との関係 | 所　有　者　　・　　管　理　者　　・　　占　有　者 |
| り 災 物 件 （ 車 両 ・ 船 舶 ・ 航 空 機 ・ 林 野 ） 詳 細 |
| 運転者、船　長・機　長　氏　名 |  | 車両・船舶・航空機　の名称・年式 |  |
| （　　歳） | 　　　 |
| 車両･船舶･航空機の種別等 |  | 車両番号 | 　 |
| 購入(建造)年月 |  | 国籍 | 　 |
| 購入(建造)金額 | 千円 | 林野焼損面積 | a 　 |
| 物件(本体)焼損箇所焼損状況 |  |
| り災の程度 | 物件名 | 数量 | り　災　の　区　分 | ※摘　要 |
| 物件本体 |  | 焼き・消火・爆発 |  |
| 積荷 |  |  | 焼き・消火・爆発 |  |
|  |  | 焼き・消火・爆発 |  |
|  |  | 焼き・消火・爆発 |  |
| 火災保険 | 対象区分 | 契約会社名 | 契約年月 | 契約保険金額 |
| 物件本体 | 　 |  |  |
| 積荷 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ※受　付　欄 | ※火 災 番 号 | ※備　考　欄 |
|  | 　　年　号火災　 |  |

**注意事項**

１　この申告書は、火災による被害財産の調査のため消防法第３４条第１項に基づいて提出を求めるものです。

２　※欄は記入しないでください。

３　この申告書は、り災した日から**７日以内**に提出してください。

４　虚偽の申告をされたときは、消防法の規定により罰則を受けることがあります。

**記入要領**

１　消防署長の前に（三原・三原西・世羅）のいずれかを記入してください。

２　申告者の職業は、具体的に記入してください。

例：会社員（〇〇会社）、公務員、自営業（○○店）など

３　り災日時

　　　火災が発生したと思われる日時を記入してください。

４　り災物件と申告者との関係：〇をしてください。

　　　所有者　車検証等に名前が書かれている「車両等の持ち主」。

　　　管理者　実際に車両等を管理・メンテナンスしている人。

　　　占有者 実際に車を使っている人。

例：運転している本人、家族で主に使っている人、

会社の営業車なら担当の社員。

５　車両・船舶・航空機の名称・年式欄の記入は、例にならってください。

（例）　マツダファミリア・令和７年式

　　　　ひろしま丸　令和７年製造

６　車両・船舶・航空機の種別等欄の記入は、例にならってください。

（例）　普通乗用自動車・貨物トラック・自動二輪車・賃物船、旅客機

７　車両番号は、ナンバープレートの表示をそのまま記入してください。

８　物体(本体)焼損箇所・焼損状況欄は、申告者が焼損状況を確認した範囲で記入してください。

９　り災の区分欄で、焼き・消火・爆発・その他の意味は次のとおりです。

「焼き」 燃えたもの、熱で壊れたもの、煙で汚れたもの。

「消火」 消火の水で濡れたもの、消火のために壊れたもの。

「爆発」 爆発により壊れたもの。

10　その他不明な点がありましたら、最寄りの消防署へお問い合わせください。